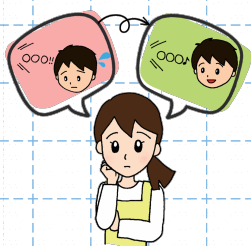


どんな声かけをしていますか？



「給食指導においてどんな声かけをしたら良いか分からない」という先生のために、今月は声かけ変換表を作成してみました！※便宜上「食べるのが遅い子には～」「姿勢が崩れている子には～」などと表現をしていますが、そのようになっているのには様々な理由・背景がありますので、声かけだけでは解決しない場合もあります。それをご理解の上で参考にしてみてください。

声かけ変換表

状況、子どもの行動	Before	After
残してしまう子	残さず食べなさい！	どれくらいだったら食べられそう？
食べるのが遅い子	早く食べて！いつまで食べてるの？	どこまで食べたならごちそうさまにする？
全く口をつけようとしない	ひと口は食べなさい	ぺろっとして/においだけかいでみたら？ (混ぜてる料理などに)どれが苦手そう？
子どもが食事を吐き出した/口から出した	お行儀悪いから吐き出さないの！	飲み込めなかったら、ここ(お皿、ボウル、ティッシュ等)に吐き出してね
苦しそうに食べている	頑張れ！	無理しなくて大丈夫だよ (既に頑張っていることが多い)
苦手なものや、普段より量をたくさん食べられたとき	すごいね！	〇〇食べられたね！
「辛い」「苦い」など味の文句に対して	わがままばかり言わないの！	大人の味が分かるんだね！
給食をたくさん減らす子	減らしすぎ！	今日はあまり食欲ないの？
姿勢が崩れている	お行儀悪いからちゃんとしなさい	両足を床につけて食べようね 〇〇さんの背中がピンとして素敵だなあ
おしゃべりがとまらない	静かにしなさい！	「これくらい(ひそひそ)」でしゃべれるかな？ 〇時になったらごちそうさまだよ
お箸を落としてしまった	落とさないようにしなきゃダメでしょ	洗っておいで

※詳しい解説は右下のQRコードを参照！

給食指導は時代と共に変化！

昔であれば「残さず食べなさい」という指導は当たり前のように行われていましたが、文科省が発行する指導の手引きも改定が進むなど時代と共に変化しています。その子のことを適切に把握して、個別指導が重視されるようになっていきますので、時代錯誤の給食指導にならないように気をつけましょう。

詳しい解説記事はこちら！

